

## 弱さの自覚が第一歩

日さく

日さく(さいたま市、若林直樹



社長)は、さいたま市民会館おみやで、2022年度全社安全大会を開いた。写真。34人が参加した。これまでコロナ禍でウェブ開催だったため、3年ぶりの対面方式となった。

若林社長は冒頭、「安全だろうという根拠のない自信に危つさがある。自分の弱さを自覚することが、安全衛生活動の第一歩になる」と話した。

続いて、日さく東日本支社安全衛生協会の遠藤計氏(PEC)が協力会社を代表してあいさつした。

この後、21年度労災状況や、安全衛生パトロール結果の報告、日本労働安全衛生コンサルタント会埼玉支部の小北悟氏による安全講話のほか、安全の誓い、安全衛生スローガンの唱和などが行われた。

(11・7)

